

定山溪地区景観まちづくり指針 アンケート及びヒアリング結果

平成28年11月17日（木）

アンケート結果

- 調査対象：景観形成誘導区域内の地域住民の方々
- 実施期間：平成28年10月3日（月）～10月17日（月）
- 配付戸数：454戸配布(うち有効票54件)(回収率11.9%)

■回答者属性

- 性別：男性34人(63.0%)、女性19人(35.2%)
- 年齢：「60歳台(33.3%)」が最も多く、次いで「70歳台(29.6%)」、「40歳台(14.8%)」
- 居住年数：「30年以上(37.0%)」が最も多く、次いで「1年以上～5年未満(24.1%)」

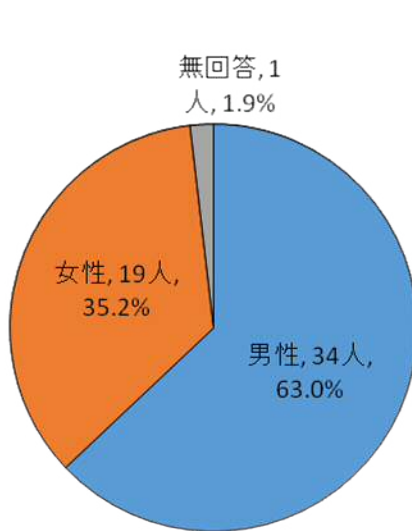


図 性別

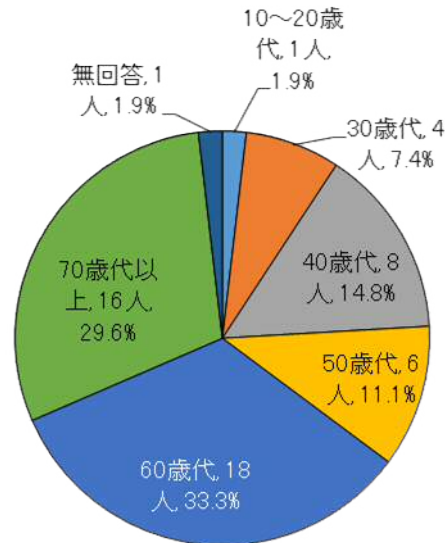


図 年齢

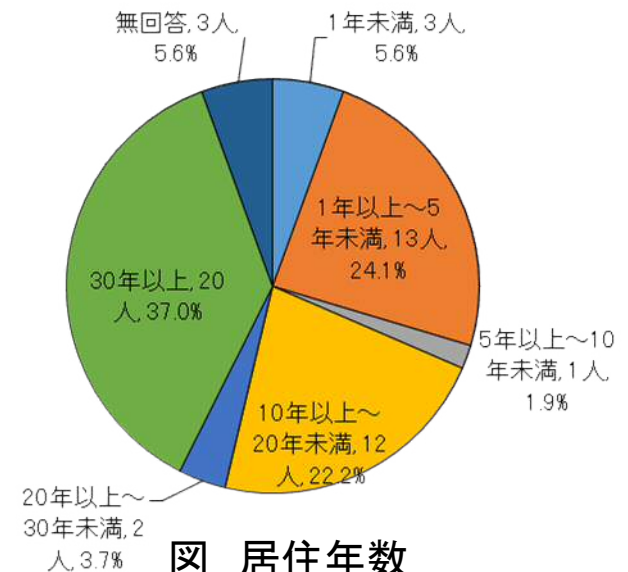
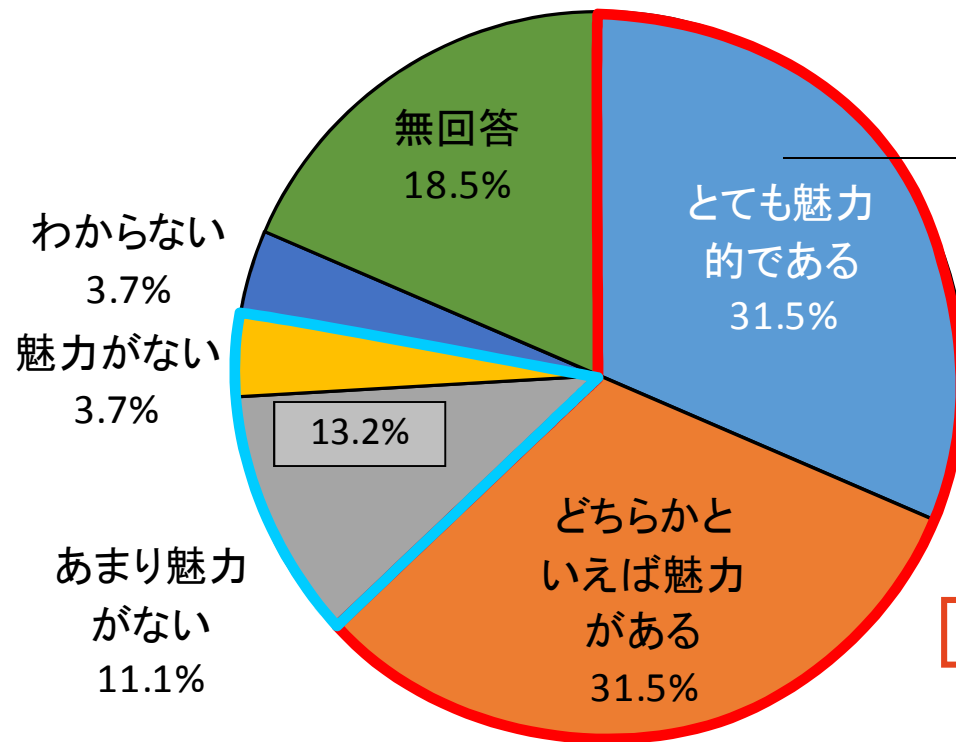


図 居住年数

1. 景観まちづくり指針に記載する『対象区域』と『目標・方針』について

(1) 定山溪地区の景観をどのように感じていますか。



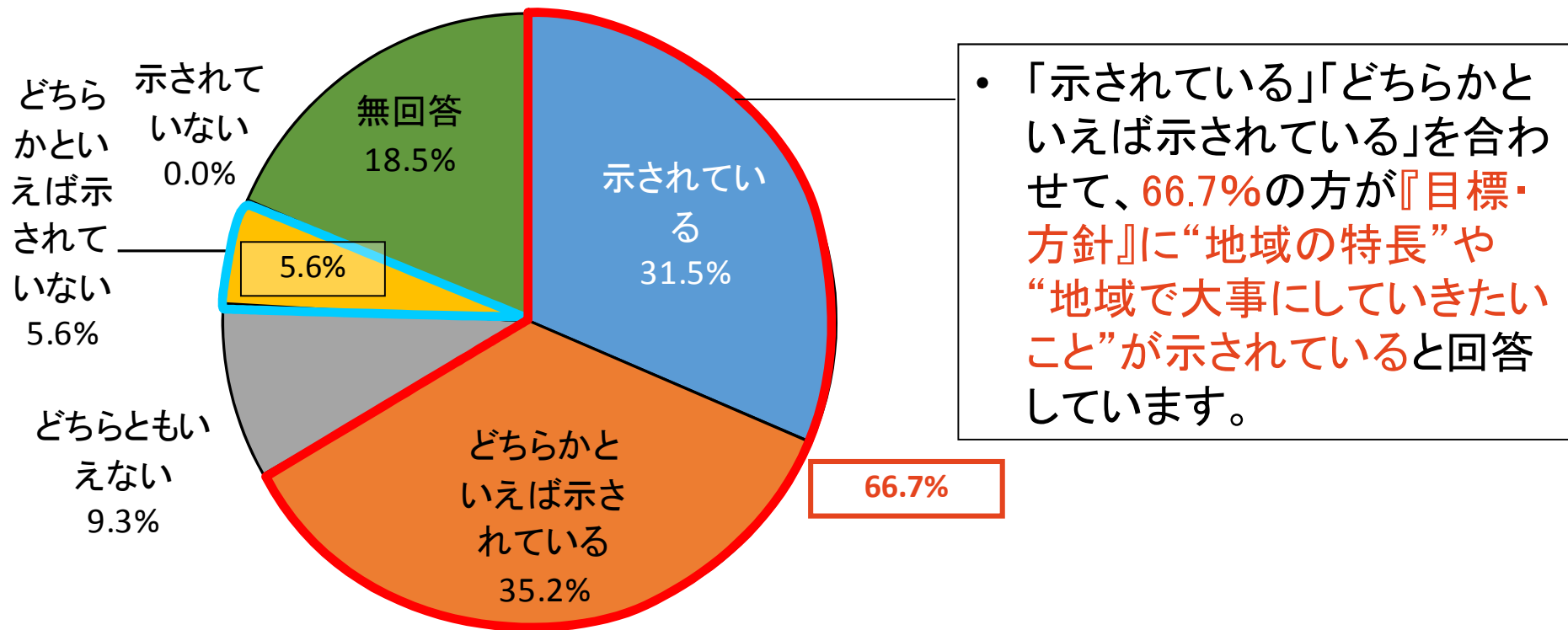
• 定山溪地区の景観について、「とても魅力的である」「どちらかといえば魅力的である」を合わせて、**63%**の方が概ね魅力的と回答しています。

63%

回答数 54

1. 景観まちづくり指針に記載する『対象区域』と『目標・方針』について

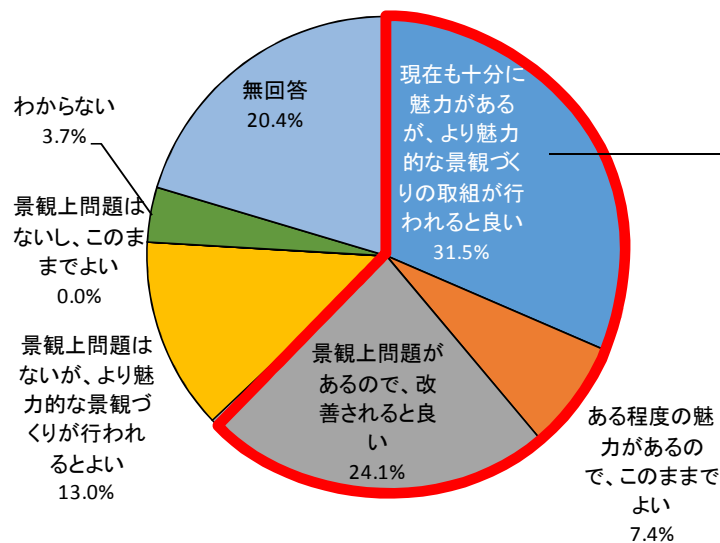
(2) 景観まちづくり指針の『目標・方針』を読んで、“地域の特長”や“地域で大事にしていきたいこと”が示されていると感じますか。



回答数 54

2. 景観まちづくり指針に記載する『基準や活動』について

(1) (仮称)景観形成誘導区域について、魅力を高めていく上で重要な区域であると位置付けていますが、この区域の景観について、今後どのようになると良いと思いますか。

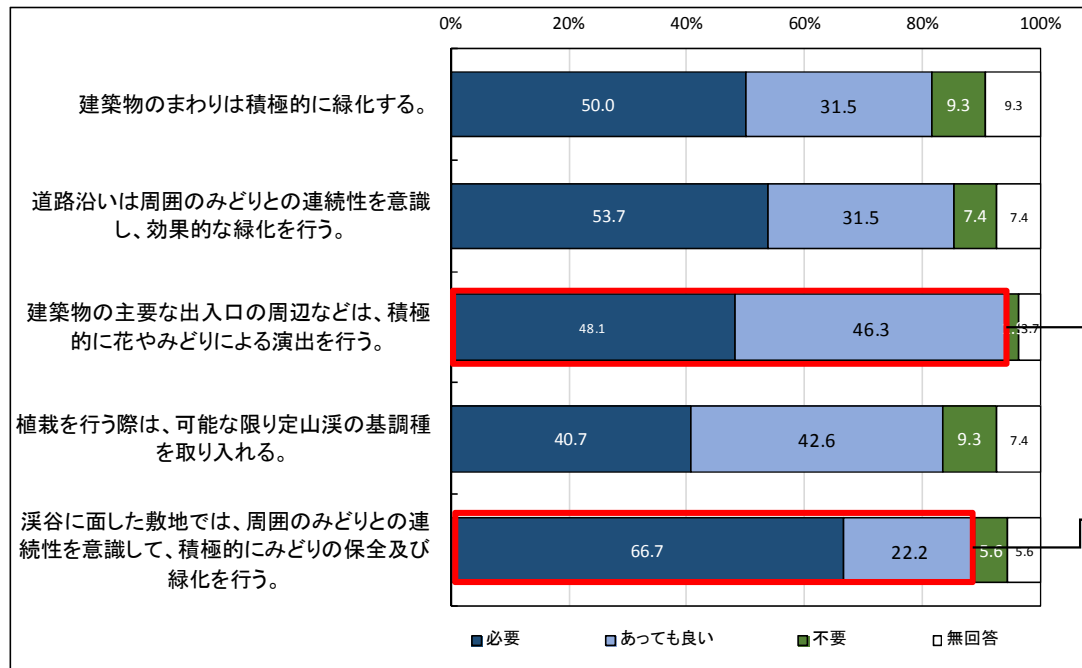


- 「現在も十分に魅力があるが、より魅力的な景観づくりの取組が行われると良い(31.5%)」「ある程度の魅力があるので、このままでよい(7.4%)」「景観的な問題があるので、改善されると良い(24.1%)」(63%)
- 現在も魅力があることを評価しつつ、改善の必要性も含めて、**今後もより良い景観が形成されていくことに期待している傾向にあります。**

回答数 54

2. 景観まちづくり指針に記載する『基準や活動』について

(2)-①(仮称)景観まちづくり指針では、魅力的な景観づくりの『基準』として以下の項目をあげていますが、『基準』として必要だと思いますか。【みどり】



○全体

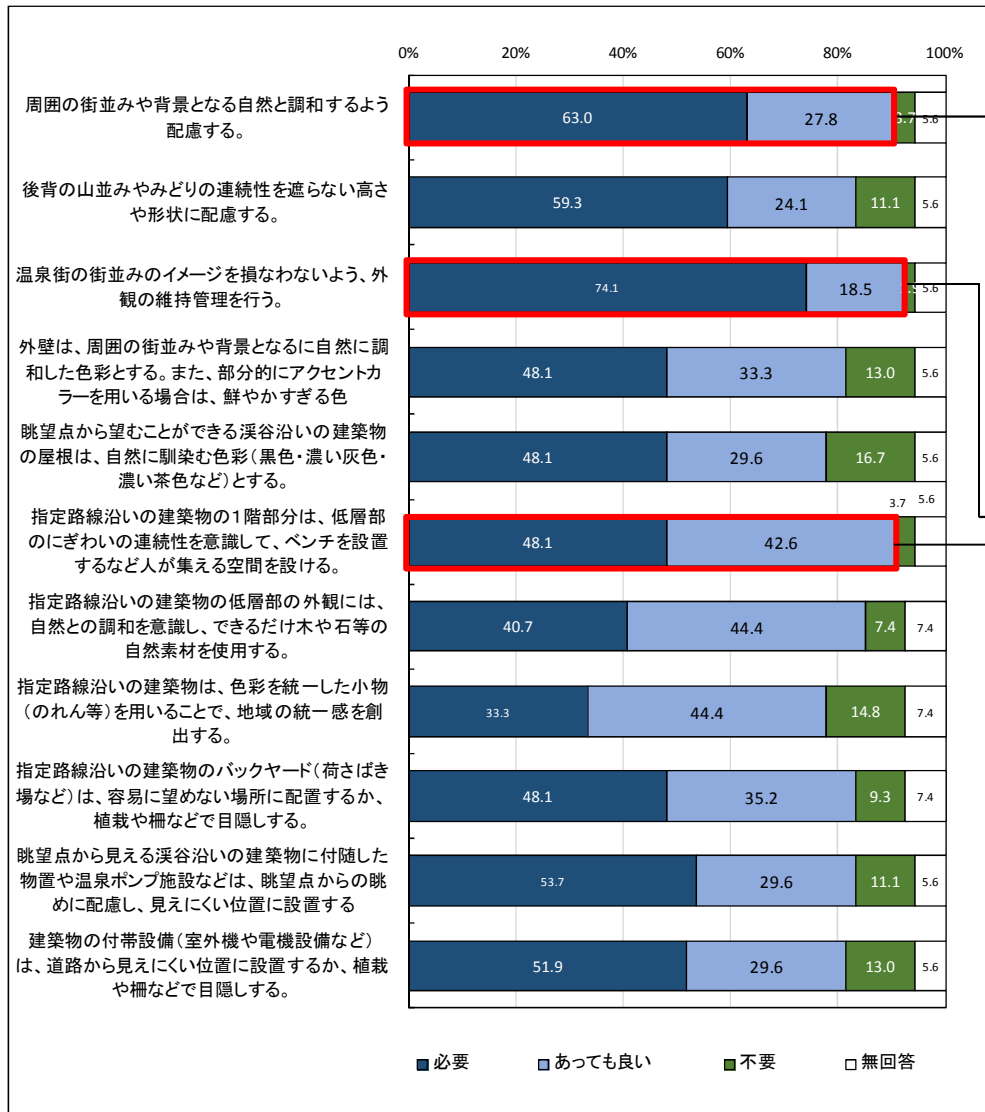
・【みどり】の基準として記した項目について、ほとんどが**全体的に「必要」「あっても良い」との回答が多い。**

・特に「**溪谷に面した敷地のみどりの保全及び緑化**」と「**建築物の出入口周辺の花やみどりによる演出**」の項目が基準として**必要(約9割)**との回答が多い。

回答数 54

2. 景観まちづくり指針に記載する『基準や活動』について

(2)-②(仮称)景観まちづくり指針では、魅力的な景観づくりの『基準』として以下の項目をあげていますが、『基準』として必要だと思いますか。【建築物・工作物】



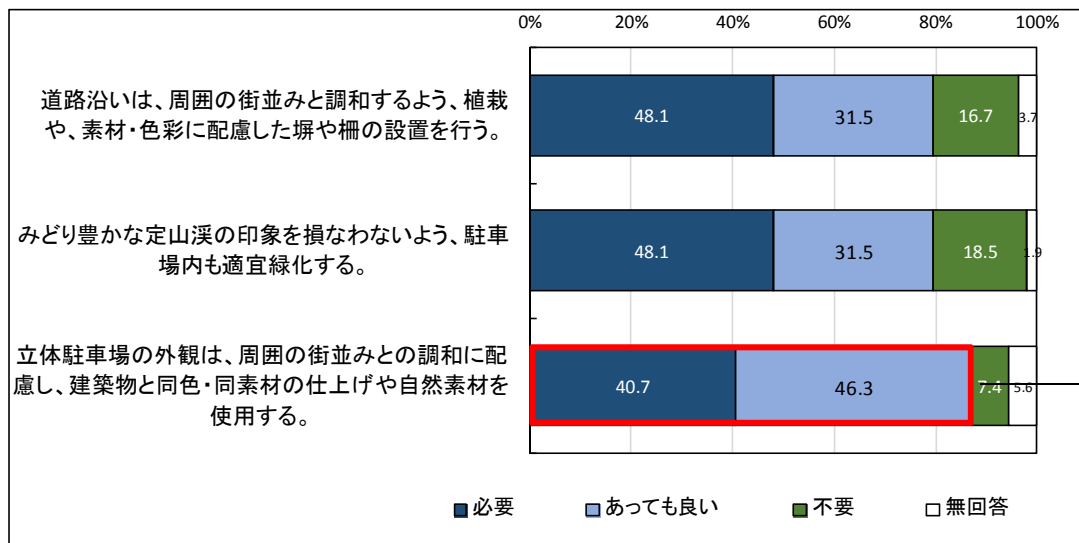
○全体
 ・【建築物・工作物】の基準として記した項目について、ほとんどが全体的に「必要」「あっても良い」との回答が多い。

・特に「周囲の街並みや自然と調和するよう配慮する」と「外観の維持管理を行う」、「指定路線沿いの建築物は低層部の賑わいの連続性を意識し人が集えるよう配慮する」の項目が基準として必要(9割以上)との回答が多い。

回答数 54

2. 景観まちづくり指針に記載する『基準や活動』について

(2)-③(仮称)景観まちづくり指針では、魅力的な景観づくりの『基準』として以下の項目をあげていますが、『基準』として必要だと思いますか。【駐車場】



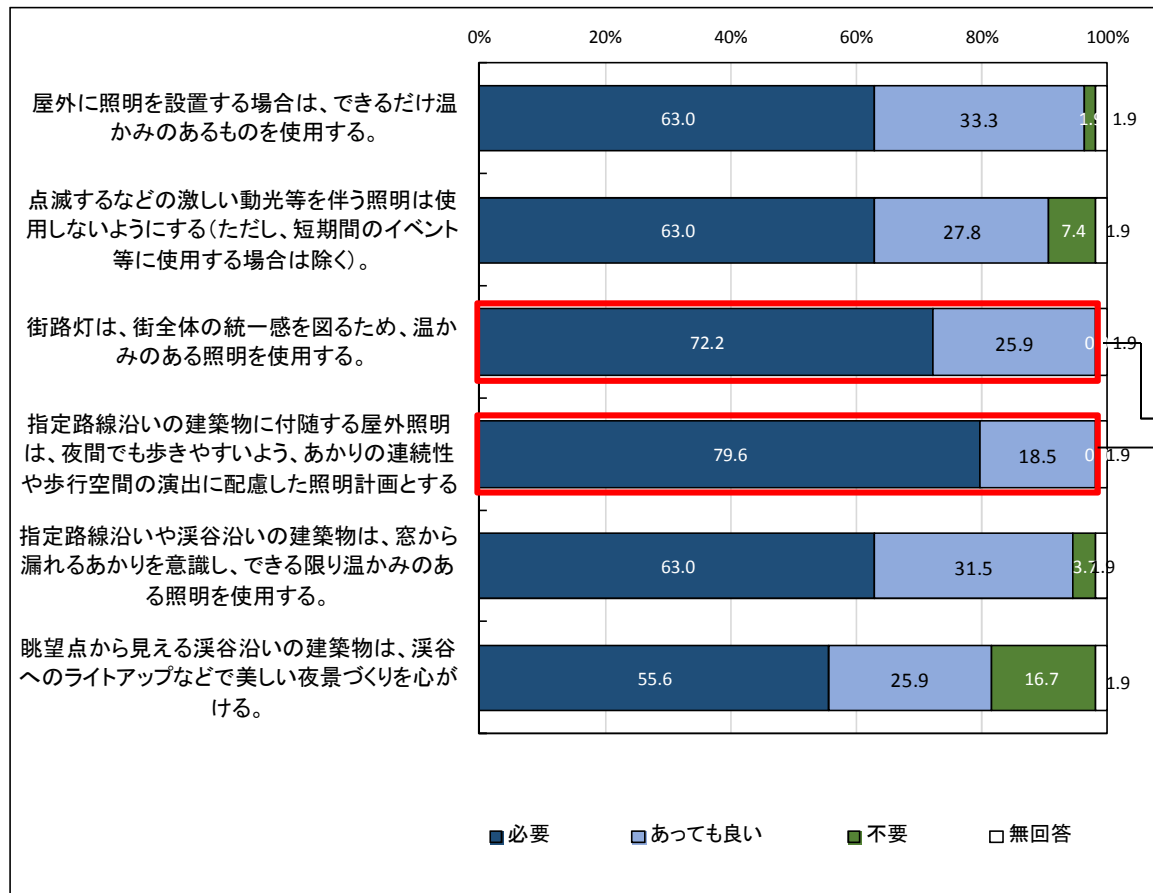
○全体

- 【駐車場】の基準として記した項目について、ほとんどが全体的に「必要」「あっても良い」との回答が多い。

- 特に「立体駐車場の外観は建築物と同色・同素材の仕上げや自然素材を使用する」の項目が基準として必要(約9割)との回答が多い。

2. 景観まちづくり指針に記載する『基準や活動』について

(2)-④(仮称)景観まちづくり指針では、魅力的な景観づくりの『基準』として以下の項目をあげていますが、『基準』として必要だと思いますか。【夜間景観】



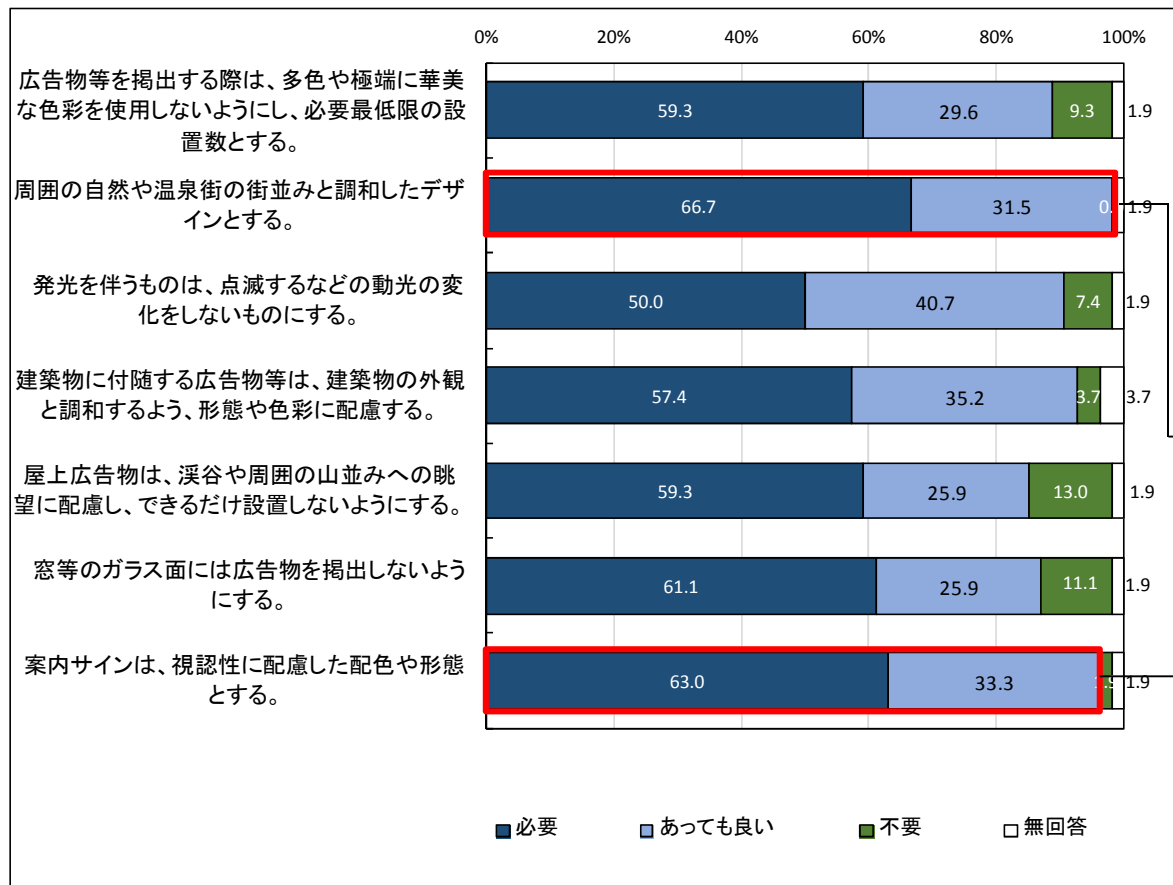
○全体
 ・【夜間景観】の基準として記した項目について、ほとんどが全体的に「必要」「あっても良い」との回答が多い。

・特に「街路灯は温かみのある照明を使用する」と「指定路線沿いの建築物に付随する屋外照明はあかりの連続性や歩行空間に配慮した照明計画とする」の項目が基準として必要(9割以上、不要なし)との回答が多い。

回答数 54

2. 景観まちづくり指針に記載する『基準や活動』について

(2)-⑤(仮称)景観まちづくり指針では、魅力的な景観づくりの『基準』として以下の項目をあげていますが、『基準』として必要だと思いますか。【広告物等】



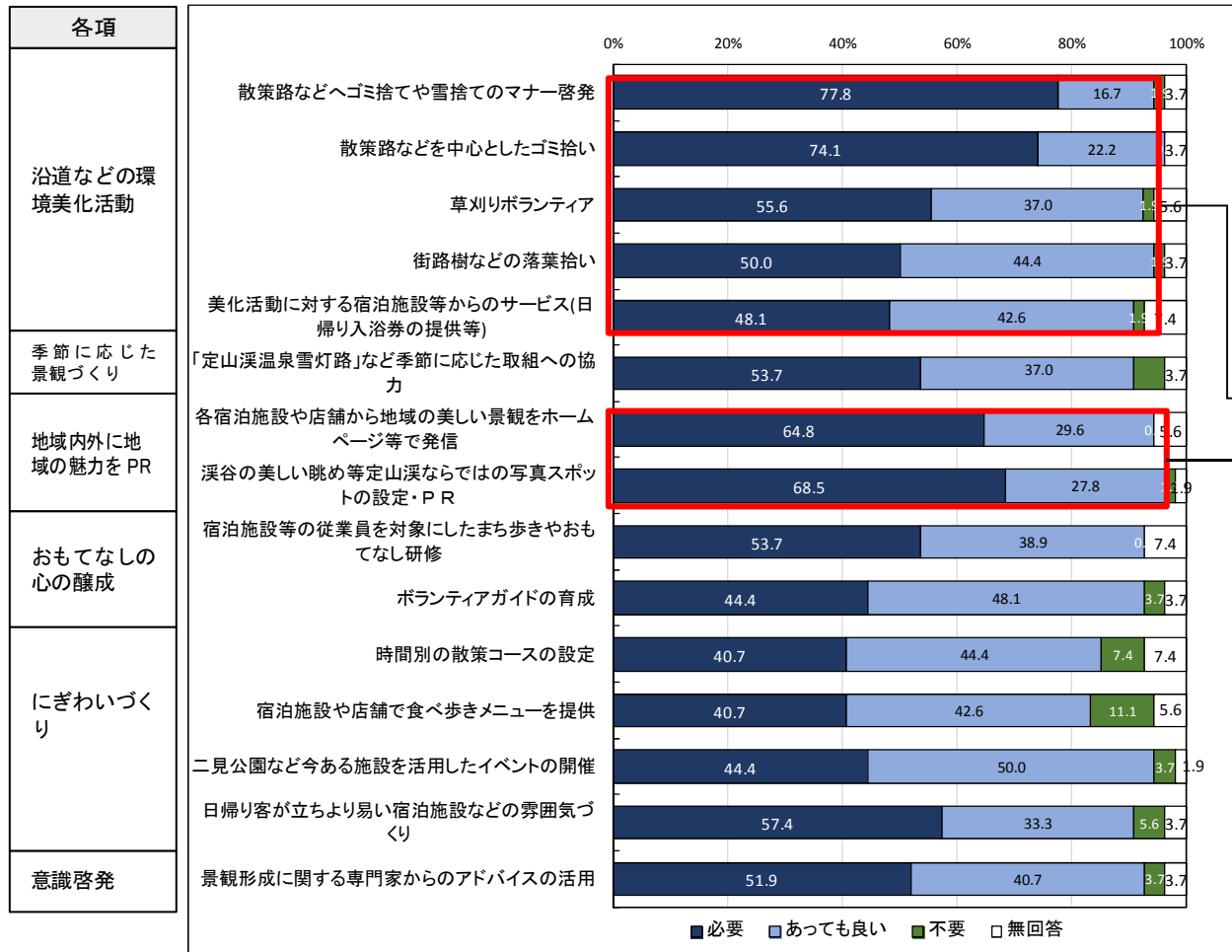
○全体

• 【広告物等】の基準として記した項目について、ほとんどが全体的に「必要」「あっても良い」との回答が多い。

• 特に「周囲の自然や温泉街の街並みと調和したデザインとする」と「案内サインは視認性に配慮した配色や形態とする」の項目が基準として必要(9割以上)との回答が多い。

3. みんなで取り組みそうな景観まちづくりの活動について

(1)-①地域の皆様が取り組みそうな活動として、どのような活動が必要だと思いますか。

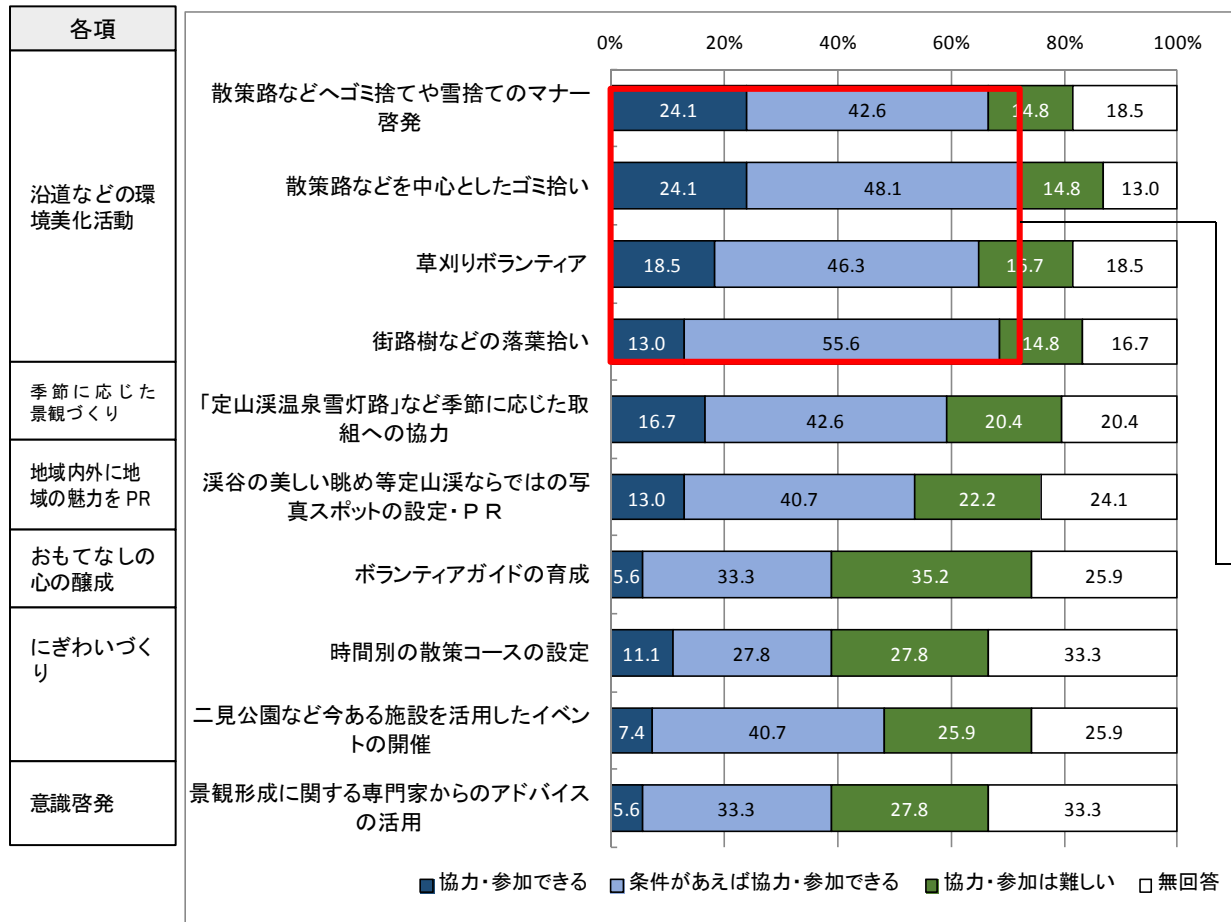


○全体
 • 全体的にいずれの項目も「必要」「あっても良い」との回答が多い。

• 特に「沿道などの環境美化活動」と「地域内外に地域の魅力をPR」に関する項目は、いずれの活動も必要性が高い(9割以上)。

3. みんなで取り組めそうな景観まちづくりの活動について

(1)-②その活動を行うとしたら、ご自身が協力・参加してみたいと思う活動はありますか。



○全体

- 各項目についての参加意向は、全体的に「参加できる」との回答が少ないものの、「条件があれば参加」は回答が多い(約3~5割)。

- 特に「沿道などの環境美化活動」に関する項目は、他の項目と比べて約5割弱が「条件があれば参加」と回答しており、ゴミ捨て等に対するマナー啓発や身近な花・緑の活動に対する参加意向が高い。

回答数 54

4. 自由回答（※主な内容の抜粋）－1

分類	回答内容
周遊・回遊性の向上 おもてなし	<ul style="list-style-type: none"> • 区内を走行する車両の速度制限をする。 • 川沿いの良い景色の場所が点でしかない。安全な遊歩道を作り、歩いて次の目的地に行く間も美しい景色が楽しめれば良い。 • 一時整備された散策路は、<u>標識などが老朽化しており手入れしていないので、歩くのも苦労する状況。散策案内も多国語併記で大きくした方が良いでしょう。</u>
より魅力的な景観資源の掘出し	<ul style="list-style-type: none"> • 定山溪の魅力はもっとたくさんあり、温泉街は各施設が<u>共通の認識を持って取り組まないと意味がない</u>。雪どけの時だけ見られる滝や、春の水芭蕉、冬の星空など感動する素材がある。 • 豊羽鉱山の滝や三笠の桜の方が白糸の滝より美しいと思う。<u>今あるモノをもう少しアピールできれば、みんな温泉街・定山溪全体を歩いてくれるのではないか。</u>
街並みの統一感	<ul style="list-style-type: none"> • ゴミ箱(住民用)も自然と調和した物を設置する。
定山溪の自然 花・みどり	<ul style="list-style-type: none"> • 定山溪は国立公園であり、温泉保養地であり、水源地でもある。定山溪がこんなにも荒れ果てた姿にしてしまったのは、<u>自然を大切にすることが観光産業の利益にもなるという意識が定山溪には欠けていたのかもしれない。</u> • 観光協会の<u>花壇をきれいにした方が良いでしょう。</u>いつも雑草だらけで汚い様な気がする。 • フィールドアスレチックは必要ない。これ以上、自然を破壊してはいけないと思う。近くの山岳散策出来る様、ガイド人を増やし、<u>動植物を大切にす地域であってほしい。</u>
景観整備に係る補助や基金の必要性	<ul style="list-style-type: none"> • 住宅の赤色等の屋根が数件有るが、<u>個人負担で改修を促すのには金銭的補助が必要。</u> • 持続的に景観が保全され豊かさが損なわれないことを望む。そのための<u>基金づくりなどの工夫を地域全体で取り組んでもいいのではないか。</u>
歴史を感じる街並みづくり	<ul style="list-style-type: none"> • 定山溪鉄道をモチーフにするなど<u>昭和の良い雰囲気をつくり、タイムスリップした気分になれるような温泉街が良いと思う。</u> • 歴史ある定山溪の定山層の寺院、定山溪神社をPRLし、<u>観光と歴史を教養として伝えてゆきたい</u>

4. 自由回答（※主な内容の抜粋） - 2

分類	回答内容
空き家・空き地の整備	<ul style="list-style-type: none"> • <u>空き家や古く使われていない温泉施設等の整備</u>など、目に付くところを綺麗にしてほしい。 • 景観が良くても空地だらけでは価値を下げる。<u>道路拡幅後のまちづくり</u>はどうか。 • 長期在中者の里とし、本州から在中者を募集して空き家・ビル等を活かす。
ゴミのポイ捨てなどマナーへの対応	<ul style="list-style-type: none"> • <u>ゴミ対策はしっかりとしてほしい</u>。買い物のビニール袋を定山溪地区では使用しないことや有料化とする、ごみ箱についての工夫など、ゴミの削減に関しての取組があると良い。 • 月見橋などの中心地はとても綺麗なのに対し、<u>人が通らないところに放置ごみやポイ捨てがあり</u>、心苦しい限り。世界にも類を見ない先進的エコツーリズム地区になると良い。 • 食べ歩きメニューによる、ゴミのポイ捨てが心配である。
屋外広告物のデザイン	<ul style="list-style-type: none"> • <u>定山溪温泉町の中の案内サインが少なく</u>、観光のお客様が定山溪温泉内のマップを持っていても分からない。外国語の案内も必要だと思う。 • 駐車場の案内が分かりづらい。
イベント等でのぎわいづくり	<ul style="list-style-type: none"> • 学生参加による“かっぱ音頭”の復活 • “花火”は全てのホテルが協力して続けて欲しい。 • ジャズフェスティバルの縮小は悲しい。 • 近所で活動する若者、ラフティングやボードを経営する人達を活かしてほしい。 • イベントは小規模でも継続することでタイミングの合う人が参加できるものが良い。
ボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> • ボランティアの活躍の場はあった方が良いが、ボランティア頼みになってしまっはいけない。地域住民は高齢化が進んでおり、<u>地域のカ(マンパワー)</u>に限りがある。
基準に係る制限	<ul style="list-style-type: none"> • 景観づくりは大切だが、制限が厳しくなると実現が難しい。ある程度、暮らしや営利活動が生み出す情景にも寛容さが欲しい。また、住民の生活において負担が生まれないよう配慮が必要。

事業者等ヒアリング結果

- ・ 調査対象：景観形成誘導区域内の事業者等（宿泊施設、飲食業、販売・サービス事業者）計15社
- ・ 実施期間：平成28年10月12日（水）～11月2日（水）

■ 主なヒアリング項目

1	普段の主な事業活動、営業活動について
2	定山溪地区の景観に対する印象について、どのように思いますか。
3	沿道の景観について、今後どのようになると良いと思いますか。
4-1	沿道の積極的な景観形成を誘導していくうえで、必要と思う基準はどのようなことだと思いますか。
4-2	上記について、参加または、どのような協力の可能性がありますか。
5	普段の事業活動において、「生活環境の向上」「地域貢献」「おもてなし」など、気を使われていることや、取り組まれていることはありますか。
6-1	地域の方々と「みんなで取り組めそうな景観まちづくり活動」のうち、必要性を感じる活動はどのようなものですか。
6-2	上記について、参加または、どのような協力の可能性がありますか。

①対象区域に対する主なご意見

- 対象区域は、概ね良いのではないかと。

②目標・方針に対する主なご意見

- 目標・方針は、概ね良いのではないかと。
- 方針が4つとも景観と直接結びついていない感じがする。

③基準や活動に対する主なご意見 -1

基準や活動の考え方

■沿道の「みどり」に関する基準

- 定山溪の特徴である自然を大切に、プランター等(可能であれば地植え)で植栽することは良い。※森の譚のエントランス(国道部分)の設えが良い雰囲気である。
- 植栽をしても維持管理がしっかりしていないと景観は反対に悪くなってしまふ。

③基準や活動に対する主なご意見 -2

■「建築物・工作物」に関する基準

- 素材や色彩の統一は良いと思う。ただし、色彩については基準色(アースカラー等)を設けたとしても、コーポレートカラーは例外として認める等柔軟に対応して欲しい。
- アクセントカラーだけでも基準があった方が良いかもしれない。
- 素材は北海道らしい自然の素材が定山溪に合うと思う。(南区という事で石山軟石等)
- 屋根の塗り替えや外壁の修繕などお金がかかる事は、補助金があると取り組みやすい。
- バックヤードの配置などを変えることはなかなか難しい。
- 国道の拡幅によって空き地が目立つことが不安である。

■「駐車場」に関する基準

- 駐車場の緑化は行っていくべきである。ただし、駐車場の緑化は大きなホテルの駐車場限定で、小さな施設は意識してもらう程度で良いのではないか。
- 地盤によっては植栽が難しい箇所もある。

■夜間景観に関する基準

- 街灯の統一感を持たせられると良い。
- 「短期間のイベント」をもう少し明確に(クリスマス時期等)にした方がいいのではないか。
- 溪谷へのライトアップは必要。また、橋へのライトアップも、夜間の写真スポットになるのではないか。

③基準や活動に対する主なご意見 -3

■ 広告物等に関する基準

- ベースの色彩や素材の基準を設けてはどうか(木の看板で統一するなど)。公共の案内サインなどについても統一感を持たせて欲しい。
- 視認性という表現は、わかりづらい。

■ 景観まちづくり活動への参加・協力

- ゴミ拾いは現在も地域や宿泊施設等で月に1度程行っているので、継続できると良い。地域住民と事業者と一緒に取り組んでいくべきである。
- 冬は源泉公園の中がツルツルになって危険なため、ボランティアで砂を撒いている。
- 雪灯路は今後温泉街でも取り組むのであれば、景観にも良い効果が出ると思う。
- 宿泊施設の従業員で実際にまちを歩き、アクティビティを体験した方が良い。また、従業員が集まっておすすめビュースポットマップを作ってはどうか。
- 各宿泊施設が協力して講師を呼ぶなど研修会を開いてはどうか。
- 定山溪ならではの食べ物が各ホテル共通でメニューとしてあると良い。
- 「美化活動に対する宿泊施設などからのサービス」は、協力できるが全宿泊施設で取り組む必要がある(施設規模によっては除外せざるを得ないところもあるが)
- 地域でどんな活動をするにも、高齢化等で地域のマンパワーが減っていることが課題。

①目標・方針の考え方

ワークショップ

- ・ 「目標・方針の考え方についても、概ね良い」との意見。



アンケート

- ・ 66.1%の方が「目標・方針」に「地域の特徴」「地域で大事にしていきたいこと」が示されているとの回答
- ・ 「温泉街と自然、どちらをウリにしたいのか不明確」「具体的な施策と目的がわかりにくい」との意見。



ヒアリング

- ・ 「目標・方針の考え方についても、概ね良い」との意見。
- ・ 「方針は4つとも景観と結びついていない気がする」との意見。



■ 反映内容

- ・ 各方針の解説について、ご意見を参考に修正・追記します。

②基準 “みどり” に関する基準

ワークショップ

- 「エゾヤマザクラやオオヤマザクラは定山溪地区に元々あるものなので、加えてもいいのでは」との意見。



アンケート

- 「みどり」に関して全体の8~9割は、「必要」「あっても良い」
- 「桜並木を取り入れる」との意見。



ヒアリング

- 「みどりが増えるのは良いが維持管理も大切」との意見。



■ 反映内容

- 道路沿いの「指定路線に接する敷地部分に植栽する際は、定山溪の在来種を積極的に採り入れる。」について、「エゾヤマザクラ」を追記します。
- 建築物の外構について、適切に植栽の維持管理を行うことを追記します。

②基準 “みどり” に関する基準

■修正前

○(仮称)景観まちづくり推進区域
(基準なし)

○(仮称)景観形成誘導区域

・指定路線に接する敷地部分に植栽する際は、定山溪の在来種を積極的に採り入れる。

※定山溪本来の豊かな自然の特長をより身近に感じてもらえるよう、指定路線沿いに植栽する際は、定山溪の在来種(ヤマモミジ、ハウチワカエデ、アカエゾマツ、ムラサキヤシオ、ヤマツツジなど)をできる限り採り入れましょう。

■修正後

①地区内の街並みに配慮し、敷地内の植栽などは適切に維持管理を行う。

指針(案) P9

②定山溪本来の豊かな自然の特長をより身近に感じてもらえるよう、指定路線沿いに植栽する際は、定山溪の在来種(ヤマモミジ、ハウチワカエデ、アカエゾマツ、ムラサキヤシオ、ヤマツツジ、エゾヤマザクラなど)をできる限り採り入れましょう。

指針(案) P9

②基準 “建築物・工作物” に関する基準

ワークショップ

- 「色について、札幌の景観色70色は色の名前を表示すると使用する側は色をイメージしやすい」との意見。

アンケート

- 「建築物工作物」に関して全体の約8~9割は、「必要」「あっても良い」
- 「色彩の統一は中途半端にならないなら良い」「渓谷沿いの建築物の屋根はシックな感じで」との意見。

ヒアリング

- 「コーポレートカラーは例外として認めてはどうか」「アクセントカラーだけでも基準があった方が良い」との意見。
- 「バックヤードの配置を変えるのは難しい」との意見。

■ 反映内容

- 「札幌の景観色70色」に名称を追記します。
- 色彩について、建築物工作物の色彩及び部分的なアクセントカラーについて地域のカラーから選定する旨を追記します。
- アクセントカラーについてはコーポレートカラーも意識した表現とします。
- 付帯設備などについて、取組を例示する表現とします。

②基準 “建築物・工作物” に関する基準

■修正前

○(仮称)景観形成誘導区域

•建築物・工作物の色彩は、周囲の街並みや背景となる自然に調和したものとする。また、部分的にアクセントカラーを用いる場合は彩度の低い色を選定する。

•建築物の付帯設備は、道路から見えにくい位置に設置するか、植栽や柵などで目隠しする。

•眺望点から見える建築物に付随した物置や温泉ポンプ施設などは、眺望の眺めに配慮し、見えにくい位置に設置するか、外壁や屋根を目立たない色彩や材質とする。

■修正後

①建築物・工作物の色彩は、周囲の街並みや背景となる自然に調和したものとなるよう地域のカラーから選定する。また、部分的にアクセントカラーを用いる場合も地域のカラーから選定することとし、これによりがたい場合は彩度の低い色を選定する。

②建築物の付帯設備は、道路から見えにくい位置に設置するか、植栽や柵などで目隠しするなど目立たないよう工夫する。

③眺望点から見える建築物に付随した物置や温泉ポンプ施設などは、眺望の眺めに配慮し、見えにくい位置に設置するか、外壁や屋根を自然に馴染む色彩や材質とするなど目立たないよう工夫する。

②基準 “駐車場” に関する基準

アンケート

- 「駐車場」に関して全体の約8～9割は、「必要」「あっても良い」

ヒアリング

- 「植栽は行っていくべき」との意見。
- 「ただし、大型宿泊施設のみでいいのでは」「地盤によっては植栽が難しい」との意見。



■ 反映内容

- 駐車場の道路に面する部分について、取組を例示する表現とします。

■ 修正前

○(仮称)景観形成誘導区域

- 駐車場の道路に面する部分は、周囲の街並みと調和するよう、植栽や、素材・色彩に配慮した塀や柵の設置を行う。



■ 修正後

- ① 駐車場の道路に面する部分は、植栽や、素材・色彩に配慮した塀や柵の設置を行うなど、周囲の街並みと調和するよう工夫する。

指針(案) P15

②基準 “夜間景観” に関する基準

アンケート

- 「夜間景観」に関して全体の8～9割は、「必要」「あっても良い」

ヒアリング

- 「街灯の統一感があると良い」との意見。
- 「“短期間のイベント”をもう少し明確に」との意見。



■ 反映内容

- 動光などを伴う照明について、解説を具体的に記載します。

■ 修正前

○(仮称)景観形成誘導区域

- 激しい動光等を伴う照明は使用しないようにする。

温泉街としての落ち着いた雰囲気損なわないように、短期間のイベントなどを除き、ネオン等の激しい動光を伴う照明は使用しないようにしましょう。



■ 修正後

- ①温泉街としての落ち着いた雰囲気損なわないように、短期間のイベント(クリスマス期間等)や地域住民や事業者等が主体で行う定山溪の観光振興に資するイベントなどを除き、ネオン等の激しい動光を伴う照明は使用しないようにしましょう。

③みんなで取り組む景観まちづくり活動

アンケート

- 「活動」に関して全体の8～9割は、「必要」「あっても良い」
- 「沿道などの環境美化活動」への参加は6～7割が「協力・参加できる」「条件があえば協力・参加できる」
- 「ゴミ・雑草等の対策をしっかりとしてほしい」との意見。
- 「定山溪には資源がたくさんある」「その時しか見れないものなどがある」との意見。

ヒアリング

- 「ゴミ拾いは月1回現在も行っているので継続できると良い」との意見。
- 「ホテルが連携してお勧めマップを作ると良い」との意見。

■ 反映内容

- 「沿道などの環境美化活動」及び「地域内外に地域の魅力をPR」について、文言を修正します。

③みんなで取り組む景観まちづくり活動

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 沿道などの環境美化活動 | 4. おもてなしの心の醸成 |
| 2. 季節に応じた景観づくり | 5. にぎわいづくり |
| 3. 地域内外に地域の魅力をPR | 6. 意識啓発 |

■修正後

地域が取り組む景観まちづくりの例（ワークショップやアンケートからの意見抜粋）

1.沿道などの環境美化活動

- ・ゴミ捨てや雪捨てマナーの啓発
- ・散策路などを中心としたゴミ拾い
- ・草刈りや**除雪**のボランティア
- ・街路樹などの落葉拾い
- ・美化活動に対する宿泊施設などからのサービス（日帰り入浴券の提供等）等

2.季節に応じた景観づくり

- ・「定山溪温泉雪灯路」など季節に応じた取組への協力等

3.地域内外に地域の魅力をPR

- ・各宿泊施設や店舗から地域の美しい景観をホームページ等で発信
- ・溪谷への美しい眺めなど定山溪ならではの写真スポットの設定
- ・SNSやパンフレット等で隠れた**感動スポット**をPR 等

4.おもてなしの心の醸成

- ・宿泊施設等の従業員を対象にしたまち歩きやおもてなし研修
- ・ボランティアガイドの育成 等

5.にぎわいづくり

- ・時間別の散策コースの設定
- ・宿泊施設や店舗で食べ歩きメニューを提供
- ・二見公園など今ある施設を活用したイベントの開催
- ・日帰り客が立ち寄り易い宿泊施設などの雰囲気づくり 等

6.意識啓発

- ・景観形成に関する専門家からのアドバイスの活用等